

友情ポイントラリープログラム

記念式典に引き続き、全県より集った仲間との交流の場とすると共に、世界遺産姫路城及びその周辺において友情ポイントラリー（名所めぐり）を実施する。

1. 日時：平成17年9月 4日（日） 12:00 ~ 15:30
（式典終了後の出陣式に引き続き実施）
2. 場所：シロトピア公園及び姫路城周辺
3. 参加者：県下各地区のビーバースカウト・カブスカウト・ボーイスカウト・指導者および同伴の保護者等
4. 受付：記念式典到着報告時に参加グッズを配布します。
5. 服装：正装とします。
6. プログラムの流れ

12:00 出陣式
(式典終了後) 各隊ごと昼食とポイントラリーへ出発

(各ポイントの運営は 12:00 ~ 15:20)

15:30 閉会セレモニー〔プログラム別紙〕

16:00 解散

7. その他

参加形態

- ・ **BVS / CS部門** ・ 各隊毎の参加 ... ポイントラリー
各地区の運営するポイントにてスタンプを集め、姫路城の周辺を散策する。
休憩の時間や自隊のプログラムの合間に仲間づくり等交流する。
- ・ **B S部門** ・ 班で参加 ... 課題ポイントラリー
スカウトスキルを發揮しながら課題のクリアーとポイントラリーを実施し、姫路城の歴史に触れると共にスカウト仲間と交流する。又、自隊のプログラムを展開する。

ポイントラリー参加要領

到着報告時に参加用グッズを配布し、出陣式終了後に活動を開始する。

他プログラムの紹介

- ・ 姫路城登閣 (有料)
- ・ 動物園 (無料交渉中)
- ・ 歴史博物館 (有料・こころんカードで無料)
- ・ 美術館・文学館 (有料)
- ・ 書写山(円教寺) (有料)

・お城十景からのお城スケッチ

- ・ 城見台公園
- ・ 男 山
- ・ シロトピア公園
- ・ 三の丸広場
- ・ 千姫ぼたん園 等
- ・

ポイントラリーの途中や、昼食時に各施設等の見学やスケッチ等のプログラムに活用してください。

(こころんカードがあると県立の施設は、無料になります)

8. プログラム参加の予定調査

参加申込書の備考欄に下記番号で参加状況をお知らせ下さい。

(重複解答も可能です)

友情ラリー 美術館	課題ポイントラリー 文学館	姫路城登閣 円教寺	歴史博物館 その他
--------------	------------------	--------------	--------------

注 1 その他の施設に行かれる場合は、施設名をご記入下さい。

注 2 お城周辺でのスケッチは、自由に行ってください。

9. ポイント設置個所 (シロトピア公園 出 発・ゴール)

<u>県立歴史博物館</u>	<u>千姫ぼたん園</u>
<u>市立美術館</u>	<u>好古園</u>
<u>東御屋敷公園</u>	<u>清水門</u>
<u>城見台</u>	<u>千姫天満宮</u>
<u>播磨国総社</u>	<u>男山貯水池公園</u>
<u>大手前公園</u>	<u>白川神社</u>
<u>姫路護国神社</u>	<u>野外ステージ</u>
<u>市立動物園(三の丸)</u>	<u>との四門 (姫山神社)</u>

スタート・ゴール : シロトピア公園

細部の検索は、姫路観光協会を参照してください。

(県連盟HPから、振興大会、シロトピア公園、サイトマップから観光イベントへ)

友情ポイントラリー運営要領

1 組織

総括責任者 : 高橋 貞美 (県連盟副コミッショナー)

ラリー担当責任者 : 松下 晃 (姫路地区コミッショナー)

- ・ B V S / C S 部門担当

小野田・菊妻 地区副コミッショナー、高浜団担当コミッショナー

- ・ B S 部門担当

大西地区副コミッショナー、清水・遠山団担当コミッショナー

- ・ ポイント運営

ポイント運営班	出発・ゴール班	安全・連絡班
ブロック長 × 5 ポイント運営 × 17 ・ブロック長は、連絡員を兼務 ・ポイント運営 各地区	各部担当者 ・涉外・案内 ・課題の解答指示 ・その他	誘導員 × 10 連絡員 ブロック長が担当 ・ポイントの案内・誘導 ・ポイントとの連絡

ポイントを五つのブロックに分割する

ブロック	ポイント	責任者
A ブロック	～ 及び	
B ブロック	～	
C ブロック	～	
D ブロック	～	
E ブロック	及びゴール	

2 友情ポイントラリーの流れ

(1) 通行手形、ひも、地図、実施上の注意事項は、記念式典到着報告時に予定申込
配布します。(申込後の増加分は、受付にて配布する)

(2) 出陣式の後、各隊の計画に従いポイントラリーに出発

(3) 所定の時間にゴールする。

(4) B S 部門参加班は、ゴール後に、課題の答えを自己採点する。

(5) ポイントの運営

姫路城周辺にポイントを設置、各地区にポイントの運営をお願いする。

- ・スタンプ押印

- ・安全管理

- ・課題の掲示

(6) 表 彰

閉会セレモニー時総括の中で、

B S 部門：自己採点による班の結果を公表し拍手で賞賛する。

B V S / C S 部門：回ったポイントの数で起立してもらい、拍手で賞賛する。